

平成26年度 特別展



恵信尼像(龍谷大学大宮図書館)

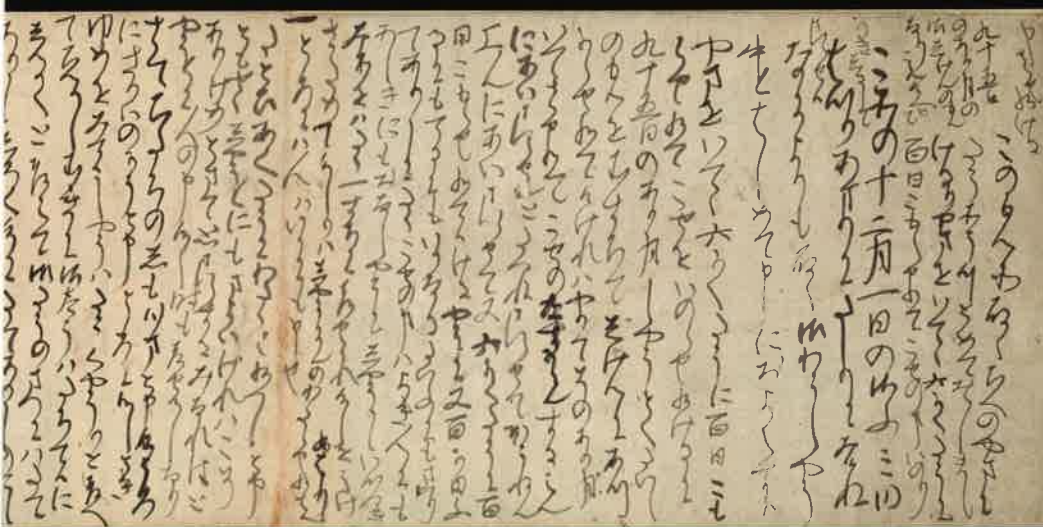


国指定重要文化財 親鸞聖人像(奈良国立博物館) 撮影:森村 欣司

親鸞となむの大地

越後と佐渡の
精神的風土

恵信尼文書 750年ぶりのお里帰り!



国指定重要文化財 恵信尼書状(京都市・西本願寺)

会場:新潟県立歴史博物館

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2

TEL.0258-47-6130 FAX.0258-47-6136

平成26年

開催期間 4月26日(土)~6月8日(日)

(休館日は5月12・19・26日、6月2日)

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

前売券 1,000円(一般のみ)

当日券 一般 1,200円 高校・大学生 800円 《中学生以下無料》

■主催:新潟県立歴史博物館・新潟親鸞学会・新潟日報社・親鸞となむの大地実行委員会

■後援:浄土真宗本願寺派新潟教区・浄土真宗本願寺派国府教区・真宗大谷派三条教区・真宗大谷派高田教区・真宗仏光寺派新潟教区・真宗高田派新潟組・真宗誠照寺派・真宗浄興寺派・真宗教団連合・(公財)全日本仏教会

親鸞となむの大地

—越後と佐渡の精神的風土—

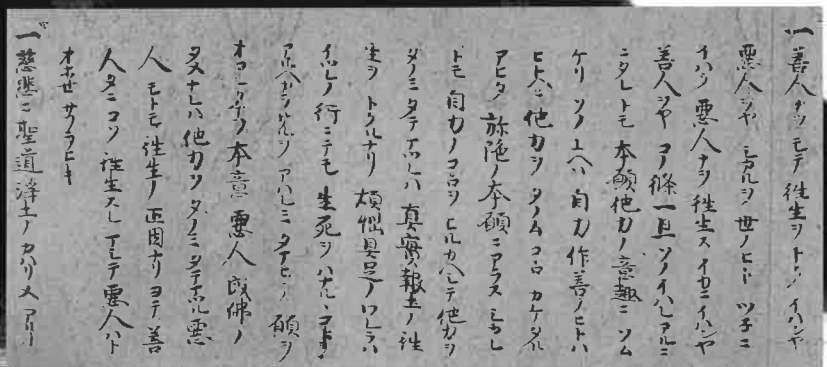
新潟県は親鸞配流の地として知られています。親鸞の教えは後の人々の間に広まり、現在新潟県内の浄土真宗寺院は1000を超えます。新潟県の歴史や精神文化に大きな影響を与えた親鸞の教えとは、いったいどのようなものなのでしょうか。

没後750年の御遠忌を迎えて、親鸞を再認識しようとする動きが全国的にも活発化し、配流の地である新潟県にも注目が集まっています。この機会に、親鸞の人物像と、越後・佐渡における浄土真宗の広まりについてもあらためて考え直すこととし、本展を企画しました。

本展では、親鸞と越後・佐渡の浄土真宗にゆかりの品々をとおして、特に越後・佐渡の人々との関わりを紹介します。



新潟県指定有形文化財
木造阿弥陀如来立像(新潟市・西永寺)



国指定重要文化財 歎異抄(京都市・西本願寺)



六角宝塔(上越市・浄興寺)



善信聖人親鸞伝絵(京都市・仏光寺)



【電車・バス】JR長岡駅大手口バス乗り場より「歴史博物館行き」(約40分)
【車】関越自動車道 長岡I.C.より……約3km



新潟県立歴史博物館

The Niigata Prefectural Museum of History

新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2

TEL.0258-47-6130 FAX.0258-47-6136

<http://nbz.or.jp/>

Email office@nbz.or.jp



※会期中、展示替を行いません。写真掲載したものが展示されない場合もありますのでご了承ください。
※背景の写真は上越市・居多ヶ浜の風景。